

孺恋村地域おこし協力隊員募集要項

《起業型地域おこし協力隊》

起業家のイチバン近くで、起業へ



【本募集について】

ミッションは起業！ 起業型地域おこし協力隊とは？

通常の地域おこし協力隊といえば、ミッションという名の「やること、やらなきゃいけないこと」が決められ、そのルール上を走るのが一般的です。

しかし、今回の本募集にあたる「起業型地域おこし協力隊」は起業することが最大のミッション。

自らのアイデアで地域活性化につながるような事業をつくり、その地域で新たなビジネス創出を目指すのが起業型地域おこし協力隊の大きな特徴です。起業を目指しながら、他のスタイルの協力隊と同様に、地域おこし協力隊としての支援が受けられます。

とはいえ、何をしてもいいということではありません。

「協力隊自身のやりたいこと・チャレンジしたいこと」と「地域が求めていること・地域が課題と感じていること」がマッチしている必要があります。

そこで、今回の起業の舞台である「孺恋村」では、高齢者・障がい者への支援事業の担い手不足を地域課題と捉え、起業家を募集します。さらに今回は、よりスムーズで高確度なビジネス展開を目指すべく、その分野へ精通したメンター（受入先）を用意しての募集になります。地域おこし協力隊として先輩起業家のいちばん近くで生のローカルビジネスを学び、ノウハウを盗んで吸収して、孺恋村で起業家として羽ばたいてくれることを期待しています！

【今回の募集の押しポイント】

- ①起業へ向けてメンターのアドバイス・コーチングを受けながら修行できる！
- ②商圏のニーズが分かっている場所で起業できる！
- ③地域おこし協力隊としての各種支援を受けながら起業準備ができる！
- ④地域とつながりやすい環境で起業準備ができる！
- ⑤地域のリアルな現場に飛び込むチャンスをゲットできる！

【受入先から皆さんへ伝えたいメッセージ】

少子高齢過疎地域と一緒に面白がろうぜ!! by代表

日本の田舎に未来はない。日本にいてもダメだから、海外に住む方がいい。
…本当にそうでしょうか。

人のいない田舎で会社作って、うまくいくわけない。
農業なんて中途半端にやるもんじゃない。
…少なくとも私は、そう思っていません。

様々な地域の課題に対して、自己成長しながら本気で取り組んで、解決方法を見つける。持続可能な仕組みを創る。それを、自分を育ててくれた地域の中で、1つでも達成することができたら。
こんなに心踊る、楽しいことはありません。

私たちは、病気や障がい、高齢であっても、誰もが集い、働き、暮らし、成長し続けることができる場所を、自分たちの身近なところに創り出すことに全力を注いでいます。

地域はたくさんの課題と共に、可能性に溢れています。このビジョンに賛同し共に歩んでくださる方、地域課題解決型の起業を志している方の応募、心よりお待ちしております。



合同会社 介護屋かんばら
代表社員 佐藤 義浩

【どんな人が向いてるの？】

< MUST >

- ・ローカル起業したい方
- ・地域でのスタートアップ企業を目指す方
- ・「人」に興味のある方
- ・起業のリスクをポジティブにとらえられる方
- ・トライアンドエラーの連続が好きな方
- ・休日不定期勤務が可能な方（施設のシフトの都合上）
- ・運転免許も持っている方（AT限定可）

※各種資格は働きながら取得可能です。着任時点で資格の有無は不問です。

< WANT >

- ・起業するにあたって、身体的・精神的にタフな方
- ・失敗を前向きにとらえることができる方
- ・少子高齢過疎地域での一般的なリソースの少なさを”面白い”にとらえることができる方
- ・PDCAサイクルを意識しながら日々活動できる方

【どんな仕事をするの!？】

起業に向けて、受け身ではなく、自らやりたいことを見つけ、手に入れていく日々！

まず初めの期間は、メンター（介護屋かんばら）の現在地を掴んでもらうために、全事業所で現場理解のため同行をしてもらいたいと考えています。また、今後の起業を見据えて、社長業への同行も行います。

【就業場所、一緒に働く人】

- ・社長業同行 → 代表と
- ・相談支援事業同行 → 各相談員と
- ・グループホーム → 管理者、現場スタッフと
- ・おいもやかんばら → 現場職員と

〈1日のスケジュール例：相談支援業務 同行の場合〉

8時30分 出社 ミーティング参加、同行スケジュールの確認
10時00分 午前の同行訪問
12時00分 昼休憩
14時00分 午後の同行訪問
17時00分 1日の振り返りと明日の目標設定
17時30分 退社

〈季節ごとに行う業務例〉

※農福連携事業においては以下のとおり

4月	畑の準備
5月	さつまいも植え付け
6月～9月	除草など
10月	収穫・収穫祭、マルシェ出店（福祉フェスティバル）
12月～3月	販売、出荷

※福祉事業については季節ごとの大きな変化はなし。



【3年間のイメージ】

以下は3年間の大まかなロードマップです。以下に限らず、あなたの思いや考え、受入先の体制など状況によって、メンターと都度相談しつつ進んでいけたらと思います。

▶ 1年目

メンター（介護屋かんばら）のビジョンやこれからの方向性の理解のため、各事業を全て体験し、感じてもらう時間を多くとります。その中で、自身の内的な動機づけ、フィールドワーク及び地域アセスメントを通した起業アイディアの構想、マーケティングに時間を割いてほしいです。

また、スキルアップのためのセミナー参加など成長を加速するための実践実学に時間を使ってください。

それらを踏まえ、どんな内容・ジャンルでもいいのでスモールビジネス立ち上げを目指します。

〈スモールビジネスの一例〉

- ・自分で地域の野菜を仕入れ、様々な販売ルートを見つけてみる
- ・地域の他事業者とコラボして、商品を販売促進してみる
- ・地域の特産品に特化したメーカーになってみる
- ・村内のイベントに顔を出して自社商品を販売してみる

▶ 2年目

1年目のフィールドワークの結果、得られた1次情報をもとに、自分のやりたい事業と地域の現状、実現可能性などの詳細を検討。地域に根差すための事業構想を具体化してみてください。

その上で、事業の先駆者に会い、成功と失敗などのよもやま話を直接学んでください。人、モノ、カネをどうやって集中させるのかを、実践に落とし込んでみてください。

1年目に立ち上げたスモールビジネスを元にして、このビジネスの行く末を検討してみましょう！

▶ 3年目

事業立ち上げに向けて、ひたすら動く1年です。

【あなたへのサポート体制】

- ・受入先団体（介護屋かんばら）でメンターのもと修行しつつ起業を目指します。
- ・自治体との定期的なミーティングを開催します。活動や生活の悩みを自治体職員へ相談できる機会をつくります。
- ・広報誌の掲載や活動報告会の実施など住民に向けて地域おこし協力隊の活動を周知する機会を設けます。
- ・3年後の地域おこし協力隊卒業後の定住を見据えた募集です。3年後の定住に向けた活動もフォローします。
- ・適宜、NPO法人ぐんま地域おこし協力隊ネットワーク（中間支援団体）への相談を行えます。
- ・地域おこし協力隊をサポートする補助金制度あり（支給条件あり）。
 - └ 地域おこし協力隊員等の起業・事業承継に要する経費：100万円／1人
 - └ 任期終了後の隊員が定住するための空き家の改修に要する経費：補助率0.5（補助上限額100万円）

【キャベツ出荷量日本一のむら】

群馬県嬭恋村は、群馬県の最西端に位置し、西・南・北の三方を長野県と接しています。

買い物など、長野県上田市・軽井沢町を生活圏とする人も多いです。

夏は涼しく平均温度は20.5度(8月)です。その分、冬は冷え込み平均温度は-5.3度(1月)で雪かきは月2～3回必要です。

都内までのアクセスは、軽井沢駅まで車で1時間、軽井沢駅から北陸新幹線で東京駅まで1時間で、合計2時間の距離です。

〈嬭恋村を象徴するモノ・コト・キーワード〉

- ・浅間山
- ・愛妻家の聖地（愛妻の丘）
- ・万座温泉
- ・鹿沢温泉
- ・キャベツ
- ・ウインタースポーツ
- ・キャンプ・アウトドア

【嬭恋村（受入自治体）から皆さんへ伝えたいメッセージ】

これまで、嬭恋村では行政、社会福祉協議会、福祉関連事業者、ボランティア団体などが一体となって地域の福祉に全力で取り組んで参りました。しかし、全国規模の少子高齢化や慢性的な人手不足の対応に追われる中、嬭恋村特有の課題である介護事業者の不足や、別荘地を有する地域性に起因する独居高齢者への対応など、現在の嬭恋村を中心とする関係者の努力だけでは、様々な課題への対応が追いつかなくなってきたのが現状です。

これまで地域の福祉を担ってきた関係者の皆様のご尽力のおかげで、今の嬭恋村の福祉が成り立ってきました。しかし、これからは、地域おこし協力隊の持つ「地域外の視点」や「新たな時代に対応する考え方」を取り入れないと、急速に変化していく時代に対応しつつ身近な地域福祉サービスの提供に取り組んでいくことができないと考えています。

本募集の受入先である「合同会社 介護屋かんばら」は、「病気や障がい、高齢であっても働き、好きなところに住み続けたい」という住民の想いを叶えるための魅力的な地域づくりを自ら進める卓越した行動力と情熱を持つ若い事業者です。行政や社会福祉協議会、ボランティア団体等と協力・連携し、地域の福祉に全力で取り組まれています。主体的に地域の課題を認識し、解決に向けて取り組む姿は、現在の嬭恋村の福祉関係者のトップランナー的存在として信頼を集めています。

嬭恋村に来ていただく地域おこし協力隊の方には、ぜひ受入先とともに地域をまわり現場で起きていることを肌で感じてください。そして、トライアンドエラーを繰り返しながら受入先や地域においてあなた自身の能力を発揮していただき、将来的にはビジネスパートナーと一緒に地域福祉に取り組み、嬭恋村での暮らしを楽しんでいければと思います。皆様の応募をお待ちしております。

【応募してみようかな！と思ったら】

地域おこし協力隊へ着任後に「こんなはずじゃなかった」というミスマッチを防ぐため下記の様に段階を踏んだ採用フローを準備しております。

< 選考の流れ >

(1) 現地説明会（Web説明会含む）への参加 **※参加必須**

まずはお問い合わせいただき、現地説明会に参加してメンターとお話しをしていただきたいと思います。メンターの人柄や経歴、事業への熱を直接感じてほしいと思います。

また、現地説明会では役場担当職員や受入団体とお話しする機会を設ける予定です。地域をご自身の目で直接見ていただき、後に「こんなはずじゃなかった」というミスマッチを防ぐために現地説明会への参加は必須とさせていただきます。疑問な点や不安な点などなんでもお気軽にご相談ください。納得いただいた上で選考へ進んでいただけたらと思います。

●Web事前説明 随時開催

●現地説明会 随時開催（Web事前説明後に実施）

(2) 第1次選考（書類）

書類選考の上、可否を文書で通知します。

(3) 第2次選考（面接）

第1次選考合格者を対象に第2次選考を孺恋村内にて行います。詳細は、第1次選考結果通知後にお知らせします。なお、第2次選考に要する交通費等は個人負担とします。

(4) 第3次選考（面接）

第2次選考合格者を対象に第3次選考を孺恋村役場にて行います。詳細は、第2次選考結果通知後にお知らせします。なお、第3次選考に要する交通費等は個人負担とします。

(5) 最終選考の結果通知

最終結果については、可否の判定を文書で通知します。選考内容についてはお答えできません。

1. 活動概要

- (1) 受入先業務全般（グループホーム業務、相談支援事業、農福連携に係る農作業、販売等）
- (2) 受入先業務及び地域課題を踏まえた事業立ち上げに向けた活動
- (3) 嬬恋村地域おこし協力隊に関する会議・研修・報告会等への参加
- (4) 村内各種イベント（キャベツマラソン、つまごい祭り等）への参加

2. 募集対象

●下記の条件を満たす方

- (1) 年齢満18歳以上から50歳以下
- (2) 性別は問いません。
- (3) 3大都市圏をはじめとする都市地域等（条件不利地を含まない市町村）に在住の方で、嬬恋村へ生活拠点を移し、委嘱後に住民票を異動できる方
- (4) 普通自動車免許を取得している方（採用までに取得見込も含む）
- (5) パソコン（ワード、エクセル、メール等）の知識を有し、活用できる方
- (6) 心身ともに健康で誠実に職務を行うことができる方
- (7) 将来嬬恋村内に定住する意思のある方

3. 募集人員・活動開始日・就業場所

●募集人員：1名

●活動開始日：応相談

●勤務地：合同会社介護屋かんばら（群馬県吾妻郡嬬恋村大字鎌原578-1）、グループホーム嬬恋大笹宿（嬬恋村大笹165-3）、畑（嬬恋村鎌原地内）等

4. 就業時間等

- (1) 就業時間：午前8時30分～午後5時30分（勤務地によって、変則勤務あり）
- (2) 休憩時間：1時間
- (3) 時間外労働：あり（月10時間程度/時間外手当支給）
- (4) 休日：週2日、年末年始（12/29～1/3） 夏季休暇（7－9月で3日間）
シフトローテーション制

5. 雇用形態及び期間

- (1) 地域おこし協力隊員として嬬恋村長が委嘱します。
委嘱期間：1年間（年度毎に更新し、最長3年間）
- (2) 職員として合同会社介護屋かんばらが雇用します。嬬恋村との雇用関係はありません。
雇用期間：1年間（1年ごとに更新し、最長3年間）
※3年後の雇用契約については協力隊員及び受入先と別途協議させていただきます。
- (3) 協力隊員としてふさわしくないと判断した場合等は、委嘱期間中であっても委嘱を取り消すことができるものとします。

6. 賃金等

- (1) 基本給：月額200,000～240,000円（社会保険料等の本人負担分が控除されます。）
※介護屋かんばらでの勤務年数により上記の賃金幅で賃金変動します。
- (2) 昇給：あり
- (3) 賞与：あり 3ヶ月/年（業績による）

7. 待遇・福利厚生

- (1) 合同会社介護屋かんばらの規定に基づき、健康保険・労災保険・雇用保険・厚生年金に加入します。
- (2) 副業は、合同会社介護屋かんばらの規定に基づき、就業時間外に可能です。
- (3) 住居は個人で契約いただき、任期中は「孺恋村地域おこし協力隊活動費等補助金交付要綱(※)」の規定に基づき上限月40,000円まで申請可能です。希望があれば、物件や不動産仲介業者をご紹介します住居選定の支援が可能です。(光熱水費及び引越費用は対象外です。)
- (4) 車両は、自家用車をご用意いただくか個人で借り上げてください。任期中は「孺恋村地域おこし協力隊活動費等補助金交付要綱」の規定に基づき、車両借上料上限月40,000円、燃料費上限月20,000円まで申請可能です。
- (5) その他、任期中の地域おこし協力隊活動に必要な経費は、任期中は「孺恋村地域おこし協力隊活動費等補助金交付要綱」の規定に基づき申請可能です。詳細はお問い合わせいただくか、孺恋村ホームページにてご確認ください。
- (6) 応募・転居等に伴う経費については応募者の負担となります。
- (※) 「孺恋村地域おこし協力隊活動費等補助金交付要綱」は孺恋村HPよりご覧いただけます。

8. 申込受付期間

●随時受付

※採用状況により申込を締め切らせていただく場合がございます。

※お申し込みの前に必ず「Web事前説明会・現地説明会」へご参加ください。

申込フォームは右記QRコードまたは下記URLよりアクセスしてください。

(申込フォームURL) <https://forms.gle/EAYEiQgpnEuYdYBm6>



申込フォーム

9. 提出書類

- (1) 孺恋村「地域おこし協力隊員」応募用紙
 - (2) レポート (①当村協力隊に応募した理由、②村おこしにかかる意気込みや提案、③任期終了後の目標・ビジョンの3点について記載したもの。形式・文字数不問。)
 - (3) 職務経歴書 (様式任意)
 - (4) 住民票
- ※書類はメール、郵送、またはご持参ください。返却はいたしませんのでお含み置きください。
メールでの提出の場合、Wordで必要事項を記載し、写真を画像データで添付の上PDF形式で提出してください。印刷した用紙をスキャンしての提出は不可です。
募集に関する質問は、電話・ファックス・メールまたは郵送でお願いします。

10. 応募先及び問合せ先

〒377-1692

群馬県吾妻郡孺恋村大字大前110

孺恋村役場未来創造課宛

電話：0279-96-1257 FAX：0279-96-0516

電子メール：miraisozo@vill.tsumagoi.gunma.jp

担当課：未来創造課

孺恋村公式ホームページ：http://www.vill.tsumagoi.gunma.jp/